

- 問1 18世紀後半にフランスで発表された「人権宣言」の内容や背景に関する説明として、最も適切なものはどれか。 (2025年 宮城県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 第一次世界大戦後の混乱の中で、労働者の権利や人間らしい生活を営む権利である「社会権」を規定した。 | 2. 名誉革命において、国王が議会の同意なしに法律を停止することや、勝手に課税することを禁じた。 | 3. 絶対王政による支配を打破しようと、自由・平等や私有財産の不可侵、人民主権などを主張した。 | 4. イギリス本国による重税に反対した植民地の人々が、生命・自由・幸福の追求などの権利を主張した。 |
|---|--|---|---|
- 問2 江戸時代の商工業組織である「株仲間」に関連する出来事について、歴史的な因果関係を説明した文として最も適切なものはどれか、次の中から選びなさい。 (2023年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 幕府が株仲間を解散させたことで、農村での綿織物などの生産が禁止され、これが原因で「百姓一揆」が頻発するようになった。 | 2. 織田信長が株仲間を公認して税を免除したことで、城下町の商業が発展し、これが後に田沼意次の経済政策へと引き継がれた。 | 3. 株仲間の結成により、商人が生産者に原料を貸し付けて製品を独占する「座」の仕組みが完成し、これが明治時代の産業革命の基礎となった。 | 4. 田沼意次は株仲間を奨励して商業を活発化させたが、後の天保の改革では、物価高騰の原因であるとして水野忠邦により解散を命じられた。 |
|---|--|---|--|
- 問3 3代将軍・徳川家光の時代に制度化された、大名が1年おきに江戸と自らの領地を往復する「参勤交代」の説明として、その仕組みや影響を正しく述べているものはどれですか。 (2020年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 大名の妻子を人質として江戸に住まわせ、さらに往復や江戸での生活に多額の費用を負担させることで、大名の経済力を削ぎ、反抗を抑えた。 | 2. 大名が1年ごとに幕府の役人を入れ替わりで自らの領地を管理することで、政治の腐敗を防ぐことを目的としていた。 | 3. 大名の経済力を高めるために、全国の特産物を江戸へ運ぶ大規模な交易ルートを幕府が主導して整備させる制度であった。 | 4. 農民が自らの領地を離れて江戸へ出稼ぎに行くことを公式に認めることで、幕府が直轄地での労働力を確保するための仕組みであった。 |
|---|--|--|--|
- 問4 江戸時代には五街道などの交通網が整備されました。これらの街道を利用し、手紙や公文書、荷物などを運搬した職を何と呼びますか。 (2020年 広島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|-------|-------|-------|
| 1. 駕籠掻き | 2. 飛脚 | 3. 車夫 | 4. 馬子 |
|---------|-------|-------|-------|
- 問5 徳川吉宗が実施した「上げ米の制」は、幕府の財政収入を増やす一方で、大名側にも配慮した交換条件が設けられていました。その仕組みについて正しく説明しているものを選びなさい。 (2020年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 米を納める代わりに、長崎での貿易を自由に行う権利を与え、商業による利益を認めた。 | 2. 米を納める代わりに、大名が幕府から借りていた借金をすべて帳消しにする「棄捐令」を発令した。 | 3. 1万石につき100石の米を納めさせる代わりに、参勤交代による江戸での滞在期間を半年間に短縮した。 | 4. 1万石につき100石の米を納めさせる代わりに、年貢の取り立てを農民に委ねる権限を与えた。 |
|---|--|---|---|
- 問6 19世紀初め（文化・文政期）を中心に、江戸の庶民の間で流行した「化政文化」について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2025年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 書院造の建物の中で行われる茶の湯や、枯山水の庭園を鑑賞する文化が、地方の農民にまで浸透した。 | 2. 南蛮貿易の影響を強く受けたキリスト教的な価値観に基づく衣服や生活習慣が、江戸の町人の主流となった。 | 3. 浮世絵、落語、相撲、川柳といった、庶民の生活や感情を反映した娯楽や文芸が広く親しまれた。 | 4. ふすまや屏風に季節の移り変わりを描く日本独自の大和絵が、貴族の間で最も重要な娯楽とされた。 |
|---|--|---|--|
- 問7 日本の歴史における政治体制や社会状況の変化を説明した以下の4つの記述を、年代の古い順に正しく並べ替えたものはどれですか。 1. 藤原道長が摂政となり、摂関政治が最盛期を迎える一方で、地方政治の乱れが顕著になった。 2. 源頼朝が朝廷から設置の許可を得て、諸国に軍事・警察を担う役職、荘園には年貢の徴収などを行う役職を配置した。 3. 豊臣秀吉が全国を統一し、太閤検地や刀狩を通じて武士と百姓の身分を明確に区別する社会の仕組みを整えた。 4. 老中の水野忠邦が、幕府の権威回復と財政立て直しを目指し、株仲間の解散などの改革を行った。 (2023年 石川県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------|------------------|------------------|------------------|
| 1. 1 → 2 → 4 → 3 | 2. 2 → 1 → 3 → 4 | 3. 1 → 3 → 2 → 4 | 4. 1 → 2 → 3 → 4 |
|------------------|------------------|------------------|------------------|
- 問8 杉田玄白らが『解体新書』を出版するに至った背景や過程について述べた文として、最も適切なものを選びなさい。 (2025年 宮城県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 鎖国体制を打破し、開国を促すための政治的なパンフレットとして、西洋の先進的な科学技術を紹介した。 | 2. 刑場での処刑に立ち会い、人体の内部がオランダ語の医学書の図と一致することを確かめた上で翻訳を行った。 | 3. 幕府の公式な命令を受け、長崎の出島に滞在していたドイツ人医師シーボルトから直接指導を受けて翻訳した。 | 4. 中国から伝わった漢方医学の知識が西洋医学よりも優れていることを証明するために、対比資料として出版した。 |
|---|---|---|--|
- 問9 「唐から帰国し比叡山延暦寺を拠点に天台宗を広めた人物」、「関ヶ原の戦いに勝利して江戸幕府を開いた人物」、「昌平坂学問所において朱子学を奨励するなどの寛政の改革を行った人物」の3名について、活躍した時代の古い順に正しく並べたものはどれですか。 (2016年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|
| 1. 最澄 → 徳川家康 → 松平定信 | 2. 徳川家康 → 松平定信 → 最澄 | 3. 最澄 → 松平定信 → 徳川家康 | 4. 徳川家康 → 最澄 → 松平定信 |
|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|
- 問10 江戸時代、ある政治家の改革があまりに厳格だったため、「白河の清きに魚の住みかねてもとのにごりの田沼恋しき」という狂歌が詠まれました。この歌が風刺している当時の政治状況の説明として最も適切なものはどれですか。 (2019年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 松平定信が、田沼意次が進めた積極的な経済政策を否定し、農本主義に基づいた厳しい俵約や思想統制を行ったため、人々が以前の自由な気風を懐かしんだ。 | 2. 田沼意次が、賄賂政治を撲滅するために厳しい法律を制定したため、商人が商売をしにくくなり、松平定信の時代のような清廉な政治を求めた。 | 3. 徳川吉宗が、米の価格を安定させるために大名から米を徴収したため、江戸の町人が食糧不足に陥り、田沼意次の時代の豊かな食生活を懐かしんだ。 | 4. 水野忠邦が、株仲間を解散させて物価の引き下げを図ったが、かえって流通が混乱したため、人々が田沼意次の安定した経済政策を高く評価した。 |
|--|--|--|---|
- 問11 田沼意次は、長崎貿易の拡大や蝦夷地の開発計画など、先進的な政策を次々と打ち出しましたが、最終的に彼の政治が行き詰まり、失脚することになった大きな要因は何ですか。 (2018年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. イギリスやロシアの船が日本近海に現れるようになり、外国からの開国要求に対処しきれなくなったこと。 | 2. 徳川吉宗が定めた「公事方御定書（くじがたおさだめがき）」に反する独裁的な裁判を繰り返したこと。 | 3. 浅間山の噴火や冷害による「天明のききん」が発生し、各地で百姓一揆や打ちこわしが激化したこと。 | 4. 新田開発が限界に達し、年貢収入が大幅に減少したことで、幕府の財政が完全に破綻したこと。 |
|---|--|---|--|